

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

2/5/1 (Item 1 from file: 351)
DIALOG(R) File 351: Derwent WPI.
(c) 2003 Thomson Derwent. All rts. reserv.

010505945 **Image available**
WPI Acc No: 1996-002896/ 199601
XRPX Acc No: N96-002639

Voice message operation method for wake up call receiving device -
transmits registered voice message to called party, whose telephone
number is also registered, at specified time

Patent Assignee: NIPPON TELEGRAPH & TELEPHONE CORP (NITE)

Number of Countries: 001 Number of Patents: 001

Patent Family:

Patent No	Kind	Date	Applicat No	Kind	Date	Week
JP 7273875	A	19951020	JP 9460695	A	19940330	199601 B

Priority Applications (No Type Date): JP 9460695 A 19940330

Patent Details:

Patent No	Kind	Lan	Pg	Main IPC	Filing Notes
JP 7273875	A		10	H04M-003/42	

Abstract (Basic): JP 7273875 A

The operation method involves registering a telephone call message in a register (10). A voice message memory (20), a time specification unit (40) and notice situation memory (50) are used for respective functions.

The telephone number, voice message to note and time to be called for the calling party are registered into respective registers. When the call time is reached from time specification, the memory is read and an automatic call to the call party is performed.

ADVANTAGE - Provides sophisticated telephone service. Obtains notice vicarious execution. Enables notification of response of called party to voice message.

Dwg.1/10

Title Terms: VOICE; MESSAGE; OPERATE; METHOD; WAKE; UP; CALL; RECEIVE;
DEVICE; TRANSMIT; REGISTER; VOICE; MESSAGE; CALL; PARTY; TELEPHONE;
NUMBER; REGISTER; SPECIFIED; TIME

Derwent Class: W01

International Patent Class (Main): H04M-003/42

International Patent Class (Additional): H04M-003/50

File Segment: EPI

2/5/2 (Item 1 from file: 347)
DIALOG(R) File 347: JAPIO.
(c) 2003 JPO & JAPIO. All rts. reserv.

04981275 **Image available**
METHOD AND DEVICE FOR VICARIOUSLY AUTOMATICALLY REPORTING VOICE MESSAGE

PUB. NO.: 07-273875 [JP 7273875 A]

PUBLISHED: October 20, 1995 (19951020)

INVENTOR(s): IWASE RYOICHI
AOYAMA TAKAHIRO

APPLICANT(s): NIPPON TELEGR & TELEPH CORP <NTT> [000422] (A Japanese
Company or Corporation), JP (Japan)

APPL. NO.: 06-060695 [JP 9460695]

FILED: March 30, 1994 (19940330)

INTL CLASS: [6] H04M-003/42; H04M-003/50

JAPIO CLASS: 44.4 (COMMUNICATION -- Telephone); 36.4 (LABOR SAVING DEVICES
-- Service Automation)

ABSTRACT

PURPOSE: To provide a method and a device for voice message vicarious and automatic reporting which enable a calling subscriber (service user) to

register an arbitrary voice message and enable him to report the voice message to an arbitrary called subscriber and enable him to the report condition.

CONSTITUTION: This method consists of a telephone number/call date/voice message register function 10, a voice message storing function 20, an intra-network calling function 30, a time designating start function 40, and a voice message report condition storing function 50. The telephone number, the call date, and the voice message to be reported are accepted from a requester and are registered in the network (10 and 20); and when the call date comes, stored information or the like is referred to automatically call the telephone number of the called subscriber.

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平7-273875

(43)公開日 平成7年(1995)10月20日

(51)Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
H 0 4 M 3/42	H			
	J			
3/50	B			

審査請求 未請求 請求項の数8 O L (全 10 頁)

(21)出願番号 特願平6-60695

(22)出願日 平成6年(1994)3月30日

(71)出願人 000004226

日本電信電話株式会社

東京都千代田区内幸町一丁目1番6号

(72)発明者 岩瀬 亮一

東京都千代田区内幸町1丁目1番6号 日

本電信電話株式会社内

(72)発明者 青山 孝宏

東京都千代田区内幸町1丁目1番6号 日

本電信電話株式会社内

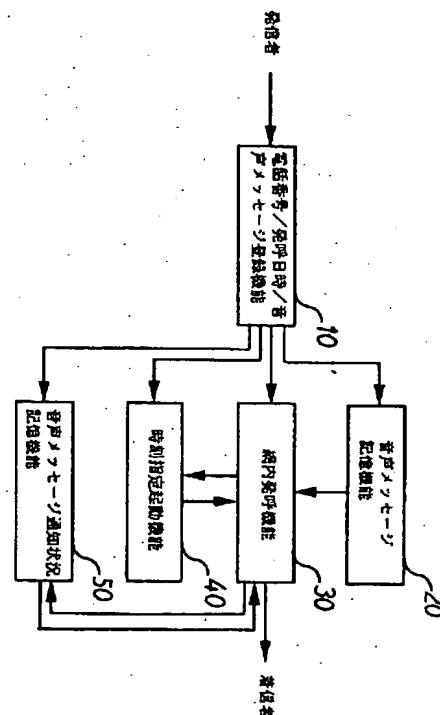
(74)代理人 弁理士 磯村 雅俊

(54)【発明の名称】 音声メッセージ自動通知代行方法およびそのための装置

(57)【要約】

【目的】 発信者（サービス利用者）が任意の音声メッセージを登録でき、任意の着信者に音声メッセージを通知することができ、また、その通知状況を知ることができる音声メッセージ自動通知代行方法およびそのための装置を提供すること。

【構成】 電話番号／発呼日時／音声メッセージ登録機能10、音声メッセージ記憶機能20、網内発呼機能30、時刻指定起動機能40、音声メッセージ通知状況記憶機能50から構成されている。依頼者から電話番号、発呼日時、通知する音声メッセージを受け付けて網内（10および20）に登録しておき、発呼日時がくると、該記憶情報などを参照し、着信者電話番号に自動発呼する。



1

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 電話サービスを提供するネットワークにおける音声メッセージ自動通知代行方法において、網内に少なくとも音声メッセージ、発呼日時、発信者電話番号、着信者電話番号を登録する機能、および自動発呼機能をもたせ、発信者から音声メッセージサービス依頼を受けると、発呼日時、発信者電話番号、着信者電話番号を登録し、上記自動発呼機能は、網内に登録された発呼日時になると、網内に登録してある音声メッセージを、網内に登録されている発信者電話番号または着信者電話番号に発呼するようにしたことを特徴とする音声メッセージ自動通知代行方法。

【請求項 2】 請求項 1 記載の音声メッセージ自動通知代行方法において、上記網内に登録してある音声メッセージは、サービス提供者が予め登録した音声メッセージまたはサービスを依頼する発信者が任意に登録することが可能な音声メッセージであることを特徴とする音声メッセージ自動通知代行方法。

【請求項 3】 請求項 1 または 2 記載の音声メッセージ自動通知代行方法において、上記着信者電話番号は、発信者が任意に登録することが可能な電話番号であることを特徴とする音声メッセージ自動通知代行方法。

【請求項 4】 請求項 1～3 いずれかに記載の音声メッセージ自動通知代行方法において、発信者の依頼した音声メッセージ自動通知の状況を当該発信者電話番号に通知することを特徴とする音声メッセージ自動通知代行方法。

【請求項 5】 請求項 4 記載の音声メッセージ自動通知代行方法において、上記音声メッセージ自動通知の状況の通知は、呼が発生したときに発信者の電話番号を網内に記憶し、網内から発呼して着信者電話番号に接続しその着信者電話番号に対して音声メッセージ通知中に着信者側から切断された場合と、音声メッセージ通知後に着信者側からの音声メッセージ受信確認信号を受信できなかった場合と、同確認信号を着信者から受信した場合に、前記記憶してある発信者の電話番号を用いて同発信者に対して網内から自動的に発呼し、接続されると、前記各々の場合の当該発信者の音声メッセージの通知状況を当該発信者に通知するようにしたことを特徴とする音声メッセージ自動通知代行方法。

【請求項 6】 電話サービスを提供するネットワークにおける音声メッセージ自動通知代行装置において、網内にサービス依頼者からの音声メッセージを記憶することが可能な音声メッセージ記憶手段、発呼日時記憶手段、発信者電話番号記憶手段、着信者電話番号記憶手段、これらの各記憶手段を制御する手段、網内自動発呼手段、時刻指定起動手段を設けたことを特徴とする音声メッセージ自動通知代行装置。

【請求項 7】 請求項 6 記載の音声メッセージ自動通知代行装置において、上記自動発呼手段は、上記時刻指定

2

起動手段からの発呼要求があった場合、上記着信者電話番号記憶手段を参照して登録されている着信者電話番号に自動発呼するものであることを特徴とする音声メッセージ自動通知代行装置。

【請求項 8】 請求項 6 または 7 記載の音声メッセージ自動通知代行装置において、さらに、音声メッセージ通知の状況を記憶しておく音声メッセージ通知状況記憶手段、音声メッセージ通知を依頼されて実行したとき、その発信者に対して音声メッセージ通知状況を通知する音声メッセージ通知状況通知手段を設けたことを特徴とする音声メッセージ自動通知代行装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、高度電話サービスを提供するネットワークにおける音声メッセージ自動通知代行方法に関し、特に、指定した時刻に、指定した着信者に対して発信者が登録した音声メッセージを発呼する音声メッセージ自動通知代行方法に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来、指定した時間に音声メッセージを発呼するサービスとして、モーニングコールがよく知られている。図 7 は、従来のモーニングコールを実現するための機能ブロック図であり、モーニングコールの登録を受け付ける発呼日時登録機能 60、音声メッセージ記憶機能 20a、網内発呼機能 30a、時刻指定起動機能 40 からなっている。これらの各機能は周知の記憶装置、データ検索装置などを使って達成することができるというまでもない。本願明細書で「機能」と呼んでいるものは、該機能を達成する全ての手段、全ての装置を含んでいるものと解釈されたい。以下、発呼日時登録機能 60、音声メッセージ記憶機能 20a、網内発呼機能 30a、時刻指定起動機能 40 の機能を図 8、図 9、図 10、および図 5 のブロック図を用いて詳細に説明する。発呼日時登録機能 60 は、図 8 に示されているように、モーニングコール受付機能 61、サービス ID 付与機能 62、申込者電話番号登録機能 63、発呼日時登録機能 64 から構成される。モーニングコール受付機能 61 は発信者からのモーニングコールの依頼を受け付ける。モーニングコールの依頼の内容はモーニングコール発呼時間、申込者電話番号とする。モーニングコールの依頼を受け付けた前記モーニングコール受付機能 61 は申込者電話番号登録機能 63 に対して申込者電話番号を、発呼日時登録機能 64 に対して発呼日時を、サービス ID 付与機能 62 に対してサービス ID 付与依頼を各々通知する。サービス ID 付与機能 62 は、前記モーニングコール受付機能 61 からサービス ID 付与依頼を通知されると、予め設定されたモーニングコールを表すサービス ID を付与し、付与したサービス ID を申込者電話番号登録機能 63、発呼日時登録機能 64 に通知する。申込者電話番号登録機能 63 は前記モーニングコー

ル受付機能61から申込者電話番号を、前記サービスID付与機能62からサービスIDを受信し、これらをつつにまとめて網内発呼機能30に送出する。発呼日時登録機能64は前記モーニングコール受付機能61から発呼日時を、前記サービスID付与機能62からサービスIDを受信し、これらをつつにまとめて時刻指定起動機能40に通知する。

【0003】音声メッセージ記憶機能20aは、図9に示すように、音声メッセージ蓄積／再生機能21、音声メッセージ参照機能22により構成される。音声メッセージ蓄積／再生機能21は予め登録された音声メッセージを蓄積する。音声メッセージ参照機能22から音声メッセージ再生要求を通知された場合には、蓄積している音声メッセージを網内発呼機能30に送出する。音声メッセージ参照機能22は前記音声メッセージ蓄積／再生機能21に予め登録された音声メッセージのレコード番号と登録されたサービスIDをテーブル管理する。音声メッセージ参照機能22は網内発呼機能30（詳しくは網内発呼機能内の後述する着信者電話番号参照機能32）から音声メッセージ再生要求およびサービスIDを受信した場合、受信したサービスIDから音声メッセージ蓄積／再生機能レコード番号を検索し、前記音声メッセージ蓄積／再生機能21に対して音声メッセージ再生要求および音声メッセージ蓄積／再生機能レコード番号を通知する。

【0004】網内発呼機能30aは、図10に示すように、発呼機能31、着信者電話番号参照機能32から構成される。発呼機能31は、着信者電話番号参照機能32から発呼要求および着信者電話番号を受信した場合、受信した着信者電話番号に対して発呼し、接続後に前記音声メッセージ蓄積／再生機能21から受信した音声メッセージを接続先の着信者に送出する。着信者電話番号参照機能32は、前記申込者電話番号登録機能63からサービスIDおよび申込者電話番号を受信し、受信したサービスIDと申込者電話番号をテーブル管理する。着信者電話番号参照機能32は時刻指定起動メッセージ参照機能42から発呼要求およびサービスIDを受信した場合、受信したサービスIDから着信者電話番号を検索し、前記発呼機能31に対して発呼要求を、前記音声メッセージ参照機能22に対して音声メッセージ再生要求およびサービスIDを送出する。

【0005】時刻指定起動機能40は、図5に示すように、カレンダー／時計機能41、時刻指定起動メッセージ参照機能42から構成される。カレンダー／時計機能41は、時刻指定起動メッセージ参照機能42に対して、現在日時（年、月、日、時、分、秒）を通知する。時刻指定起動メッセージ参照機能42は、前記発呼日時登録機能64からサービスIDおよび指定日時を受信し、受信したサービスIDと指定日時をテーブル管理する。時刻指定起動メッセージ参照機能42はカレンダー／時計機能

41から現在日時を受信し、受信した現在日時に起動されるべきサービスIDが存在した場合には、前記着信者電話番号参照機能32に発呼要求およびサービスIDを送出する。以上のように、申込者が申込者電話番号／発呼日時を網内に登録することにより、登録した発呼日時に音声メッセージを網内から発呼し、網が音声メッセージを代行して通知することができる。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】従来技術においては、時刻起動されて通知される音声メッセージは予めサービス提供者が登録した固定のメッセージであり、サービス提供者は使用するメッセージを予め登録しておく必要があった。また、サービス申込者はサービス受信者のサービス受信状況が把握することができなかった。本発明の目的は、発信者（サービス利用者）が任意の音声メッセージを登録でき、任意の着信者に音声メッセージを通知することができ、また、その通知状況を知ることができる音声メッセージ自動通知代行方法およびそのための装置を提供することにある。

【0007】

【課題を解決するための手段】本発明は、上記の課題を解決するため、従来の発呼日時登録機能に、音声メッセージ録音機能、音声メッセージ登録機能、発信元電話番号登録機能（電話番号／発呼日時／音声メッセージ登録機能）を追加する。また、音声メッセージ通知状況記憶機能を新たに網に設置する。さらに、網内発呼機能に音声メッセージ通知状況通知機能を追加する。

【0008】

【作用】音声メッセージを網に登録する機能を追加することにより、サービス提供者が予め登録した音声メッセージ以外の音声メッセージを発信者自らが登録することができる。また、発信者が着信者電話番号を自由に登録できるため、任意の相手に対して音声メッセージを通知することができる。更に、音声メッセージ通知状況記憶機能を追加したことによりサービス登録者（発信者）はサービス受信者のサービス受信状況を把握することができる。

【0009】

【実施例】以下、図面を用いて本発明の一実施例を詳細に説明する。図1は、本発明の一実施例の音声メッセージ通知代行方法を実施するための機能ブロック図であり、電話番号／発呼日時／音声メッセージ登録機能10、音声メッセージ記憶機能20、網内発呼機能30、時刻指定起動機能40、音声メッセージ通知状況記憶機能50から構成されている。「従来の技術」の項で述べたように、ここで「機能」と呼んでいるものは、該機能を達成する全ての手段、全ての装置を含んでいる。以下、電話番号／発呼日時／音声メッセージ登録機能10、音声メッセージ記憶機能20、網内発呼機能30、時刻指定起動機能40、音声メッセージ通知状況記憶機能

5

能50を図2～図6のブロック図を用いて詳細に説明する。

【0010】電話番号／発呼日時／音声メッセージ登録機能10は、図2に示すように、サービス受付機能11、音声メッセージ録音機能12、サービスID付与機能13、音声メッセージ登録機能14、着信者電話番号登録機能15、発呼日時登録機能16、発信元電話番号登録機能17により構成される。サービス受付機能11は、発信者（利用者）からの音声メッセージ通知代行サービスの依頼を受付ける。ここで、サービス依頼の具体的な内容は、音声メッセージ通知代行日時、着信者電話番号および音声メッセージ、音声メッセージ通知状況の通知方法とする。但し、音声メッセージとしては、発信者自らが新たに登録するものでもよいし、サービス提供者が網内に予め登録してある複数の音声メッセージのうちの1つを選択するようにしてもよい。発信者からサービスの依頼を受け付けた前記サービス受付機能11は、音声メッセージ登録機能14に対して発信者自らが音声メッセージを登録するか網内に登録してある複数の音声メッセージのうちの1つを選択するかを、着信者電話番号登録機能15に対して着信者電話番号を、発呼日時登録機能16に対して発呼日時を、発信元電話番号登録機能17に対して発信元電話番号および音声メッセージ通知状況の通知方法を、サービスID付与機能13に対してサービスID付与依頼を各々通知する。発信者が網内に登録してある音声メッセージを選択した場合には、前記サービス受付機能11は発信者が選択した音声メッセージIDも音声メッセージ登録機能14に通知する。発信者自らが音声メッセージを登録する場合には、前記サービス受付機能11は音声メッセージ録音機能12に音声メッセージ録音依頼を通知する。

【0011】音声メッセージ録音機能12は前記サービス受付機能11から音声メッセージ録音依頼を受信すると、発信者からの音声メッセージを録音し、録音した内容を音声メッセージ登録機能14に通知する。サービスID付与機能13は、前記サービス受付機能11からサービスID付与依頼を通知されると、新たなサービスIDを選択し、選択したサービスIDを音声メッセージ登録機能14、着信者電話番号登録機能15、発呼日時登録機能16、発信元電話番号登録機能17に通知する。音声メッセージ登録機能14は、前記サービス受付機能11から発信者自らが音声メッセージを登録するか網内に登録してある音声メッセージを選択するかを指定する信号を受信する。そして、発信者自らが音声メッセージを新たに登録する場合には前記音声メッセージ録音機能12から音声メッセージを受信する。さらに、前記サービスID付与機能13からサービスIDを受信する。音声メッセージ登録機能14は受信した音声メッセージIDまたは登録された音声メッセージを後述する音声メッセージ記憶機能20内の音声メッセージ蓄積／再生機能

6

21に、サービスIDを音声メッセージ参照機能22に送出する。着信者電話番号登録機能15は前記サービス受付機能11から発呼日時を、前記サービスID付与機能13からサービスIDを受信し、これらを後述する網内発呼機能30内の着信者電話番号参照機能32に送出する。発呼日時登録機能16は前記サービス受付機能11から発呼日時を、前記サービスID付与機能13からサービスIDを受信し、これらを後述する時刻指定起動機能40内の時刻指定起動メッセージ参照機能42に通知する。発信元電話番号登録機能17は前記サービス受付機能11から受信した発信元電話番号および音声メッセージ通知状況の通知方法と、前記サービスID付与機能13から受信したサービスIDを音声メッセージ通知状況記憶機能52に通知する。

【0012】音声メッセージ記憶機能20は音声メッセージ蓄積／再生機能21、音声メッセージ参照機能22により構成される。音声メッセージ蓄積／再生機能21は前記音声メッセージ登録機能14から音声メッセージIDまたは音声メッセージを受信すると、音声メッセージを蓄積し、音声メッセージを蓄積したレコード番号を音声メッセージ参照機能22に通知する。音声メッセージ蓄積／再生機能21は音声メッセージ参照機能22から音声メッセージ再生要求および音声メッセージ蓄積／再生機能レコード番号を通知された場合には、通知された音声メッセージ蓄積／再生機能レコード番号に蓄積されている音声メッセージを発呼機能31に送出する。

【0013】音声メッセージ参照機能22は前記音声メッセージ登録機能14からサービスIDを、前記音声メッセージ蓄積／再生機能21から音声メッセージ蓄積／再生機能レコード番号を受信し、受信したサービスIDと音声メッセージ蓄積／再生機能レコード番号をテーブル管理する。音声メッセージ参照機能22は後述する網内発呼機能30内の着信者電話番号参照機能32から音声メッセージ再生要求およびサービスIDを受信した場合、受信したサービスIDから音声メッセージ蓄積／再生機能レコード番号を検索し、前記音声メッセージ蓄積／再生機能21に音声メッセージ再生要求および音声メッセージ記憶機能レコード番号を通知する。

【0014】網内発呼機能30は、発呼機能31、着信者電話番号参照機能32、音声メッセージ通知状況通知機能33から構成される。発呼機能31は着信者電話番号参照機能32から発呼要求および着信者電話番号を受信した場合、受信した着信者電話番号に対して発呼し、接続後に前記音声メッセージ蓄積／再生機能21から受信した音声メッセージを接続先の着信者に送出する。また、音声メッセージ通知状況通知機能33から音声メッセージ通知状況通知要求および発信者電話番号を、後述する音声メッセージ通知状況記憶機能50内の音声メッセージ通知状況蓄積／再生機能51から音声メッセージ通知状況を受信した場合、受信した発信者電話番号に対

して発呼し、接続後に音声メッセージ通知状況を発信者
に送出する。着信者電話番号参照機能32は前記着信者
電話番号登録機能15からサービスIDおよび着信者電
話番号を受信し、受信したサービスIDと着信者電話番
号をテーブル管理する。着信者電話番号参照機能32
は、後述する時刻指定起動機能40内の時刻指定起動メ
ッセージ参照機能42から発呼要求およびサービスID
を受信した場合、受信したサービスIDから着信者電話
番号を検索し、前記発呼機能31に対して発呼要求を、
前記音声メッセージ参照機能22に対して音声メッセー
ジ再生要求およびサービスIDを送出する。

【0015】音声メッセージ通知状況通知機能33は発
呼機能31が着信者に対して発呼したときの着信者の音
声メッセージ通知状況を受信する。ここで音声メッセー
ジ通知状況とは、音声メッセージを再生途中に着信者側
から切断された場合、音声メッセージ再生終了後に着信
者が同音声メッセージを確認したことを示す確認信号を
着信者から受信できなかった場合、同確認信号を着信者
から受信した場合等における各々の呼数を表す情報とす
る。音声メッセージ通知状況通知機能33は受信した音
声メッセージ通知状況を音声メッセージ通知状況蓄積/
再生機能51に通知する。音声メッセージ通知状況通知
依頼および発信元電話番号を受信し、音声メッセージ通
知状況蓄積/再生機能51から音声メッセージ通知状況
を受信した場合、前記発呼機能31に音声メッセージ通
知状況および発信元電話番号を通知する。

【0016】時刻指定起動機能40はカレンダー/時計機
能41、時刻指定起動メッセージ参照機能42により構
成される。カレンダー/時計機能41は時刻指定起動メッ
セージ参照機能42に対して、現在日時(年、月、日、
時、分、秒)を通知する。時刻指定起動メッセージ参照
機能42は前記発呼日時登録機能16からサービスID
および指定日時を受信し、受信したサービスIDと指定
日時をテーブル管理する。時刻指定起動メッセージ参照
機能42はカレンダー/時計機能41から現在日時を受信
し、受信した現在日時に起動されるべきサービスIDが
存在した場合には、前記着信者電話番号参照機能32に
発呼要求およびサービスIDを送出する。

【0017】音声メッセージ通知状況記憶機能50は、
音声メッセージ通知状況蓄積/再生機能51、音声メッ
セージ通知状況参照機能52により構成される。音声メ
ッセージ通知状況蓄積/再生機能51は、音声メッセー
ジ通知状況参照機能52から音声メッセージ通知状況お
よびサービスIDを受信すると音声メッセージ通知状況
を蓄積したレコード番号およびサービスIDを音声メッ
セージ通知状況参照機能52に通知する。音声メッセー
ジ通知状況蓄積/再生機能51は音声メッセージ通知状
況参照機能52から音声メッセージ通知状況再生要求お
よび音声メッセージ通知状況蓄積/再生機能レコード番
号を通知された場合には、通知された音声メッセージ通

知状況蓄積/再生機能レコード番号に蓄積されている音
声メッセージ通知状況を前記発呼機能31に送出する。

【0018】音声メッセージ通知状況参照機能52は前
記発信元電話番号登録機能17からサービスIDおよび
発信元電話番号、音声メッセージ通知状況の通知方法を
受信し、受信したサービスID、発信元電話番号、音声
メッセージ通知状況の通知方法をテーブル管理する。ま
た、音声メッセージ通知状況参照機能52は前記音声メ
ッセージ通知状況蓄積/再生機能51から音声メッセー
ジ通知状況蓄積/再生機能レコード番号およびサービス
IDを各々受信すると、受信したサービスID/受信し
た音声メッセージ通知状況蓄積/再生機能レコード番号
をテーブル管理する。音声メッセージ通知状況参照機能
52は蓄積した音声メッセージ通知状況蓄積/再生機能
レコード番号を検索し、前記音声メッセージ通知状況通
知機能33に音声メッセージ通知状況通知要求を通知
し、同時に前記音声メッセージ通知状況蓄積/再生機能
51に音声メッセージ通知状況再生要求および音声メッ
セージ記憶機能レコード番号を通知する。

【0019】以上、本発明の構成要素である各機能およ
びそれら各機能の間の関連を詳細に説明した。本発明
は、これらの各機能を有する装置を網内に設置し、発信
者が着信者電話番号/発呼日時/音声メッセージ/音声
メッセージ通知状況の通知方法を網内に登録することに
より、登録した着信者電話番号/発呼日時に登録した音
声メッセージを網内から発呼し、網が音声メッセージを
代行して通知することができる。また、着信者に対する
音声メッセージの通知状況を発信者に対して通知するこ
とができる。

【0020】

【発明の効果】本発明によれば、着信者電話番号と発呼
日時と音声メッセージを予め網に登録しておく、指定
された着信者電話番号へ指定された日時に網が自動発呼
し、指定された音声メッセージの通知代行をしてくれる
ので、所定の日時に所定の電話番号へ所定の音声メッ
セージを伝えたいが、当該日時に当該電話番号へ電話をか
けることができないことが予めわかっている場合や、重
要なスケジュールを自分自身に音声メッセージで知らせ
させること等に利用することができる。また、着信者
に対する音声メッセージの通知状況を網が通知してくれ
るため、着信者に通知した音声メッセージに対する着信
者の対応を把握することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1の実施例を実現するための機能ブ
ロック図である。

【図2】本発明の実施例における電話番号/発呼日時/
音声メッセージ登録機能の詳細ブロック図である。

【図3】本発明の実施例における音声メッセージ記憶機
能の詳細ブロック図である。

【図4】本発明の実施例における網内発呼機能の詳細ブ

ロック図である。

【図5】本発明の実施例における時刻指定起動機能の詳細ブロック図である。

【図6】本発明の実施例における音声メッセージ通知状況記憶機能の詳細ブロック図である。

【図7】従来技術を実現するための機能ブロック図である。

【図8】従来技術における発呼日時登録機能の詳細ブロック図である。

【図9】従来技術における音声メッセージ記憶機能の詳細ブロック図である。

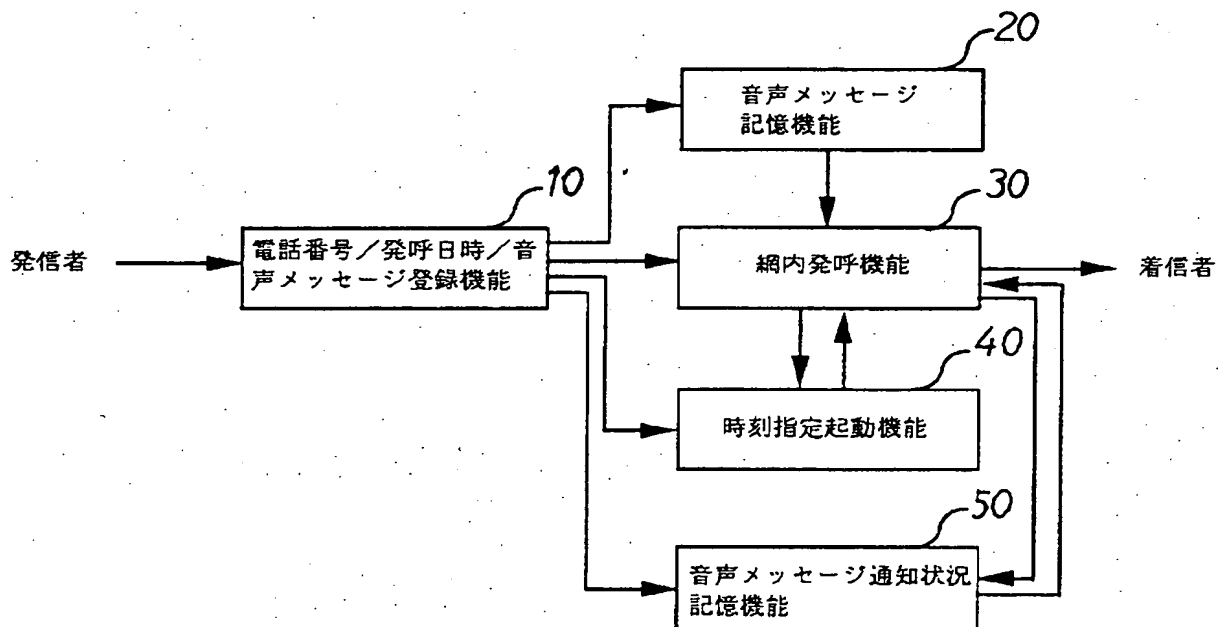
【図10】従来技術における網内発呼機能の詳細ブロック図である。

【符号の説明】

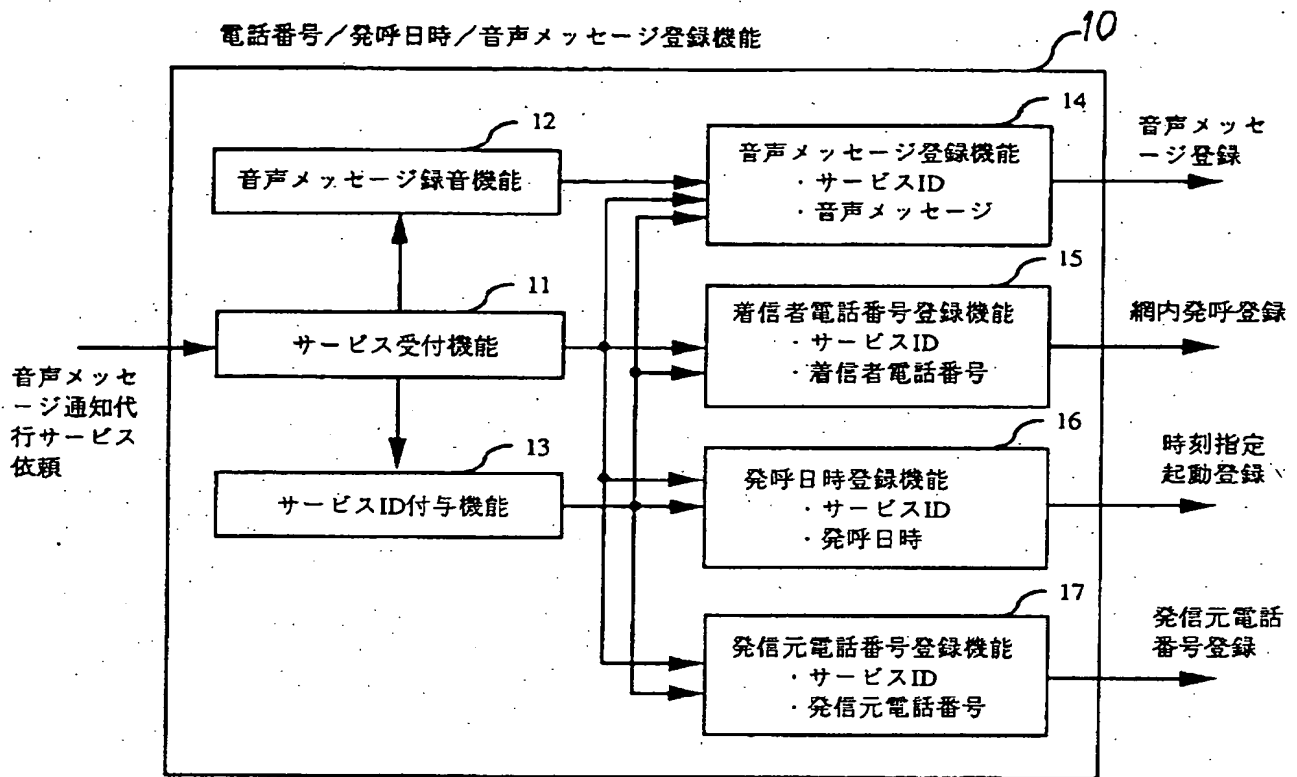
- 10 電話番号／発呼日時／音声メッセージ登録機能
- 11 サービス受付機能
- 12 音声メッセージ録音機能
- 13 サービスID付与機能
- 14 音声メッセージ登録機能
- 15 着信者電話番号登録機能

- 16 発呼日時登録機能
- 17 発信元電話番号登録機能
- 20 音声メッセージ記憶機能
- 21 音声メッセージ蓄積／再生機能
- 22 音声メッセージ参照機能
- 30 網内発呼機能
- 31 発呼機能
- 32 着信者電話番号参照機能
- 33 音声メッセージ通知状況通知機能
- 40 時刻指定起動機能
- 41 カレンダー／時計機能
- 42 時刻指定起動メッセージ参照機能
- 50 音声メッセージ通知状況記憶機能
- 51 音声メッセージ通知状況蓄積／再生機能
- 52 音声メッセージ通知状況参照機能
- 60 発呼日時登録機能
- 61 モーニングコール受付機能
- 62 サービスID付与機能
- 63 申込者電話番号登録機能
- 20 64 発呼日時登録機能

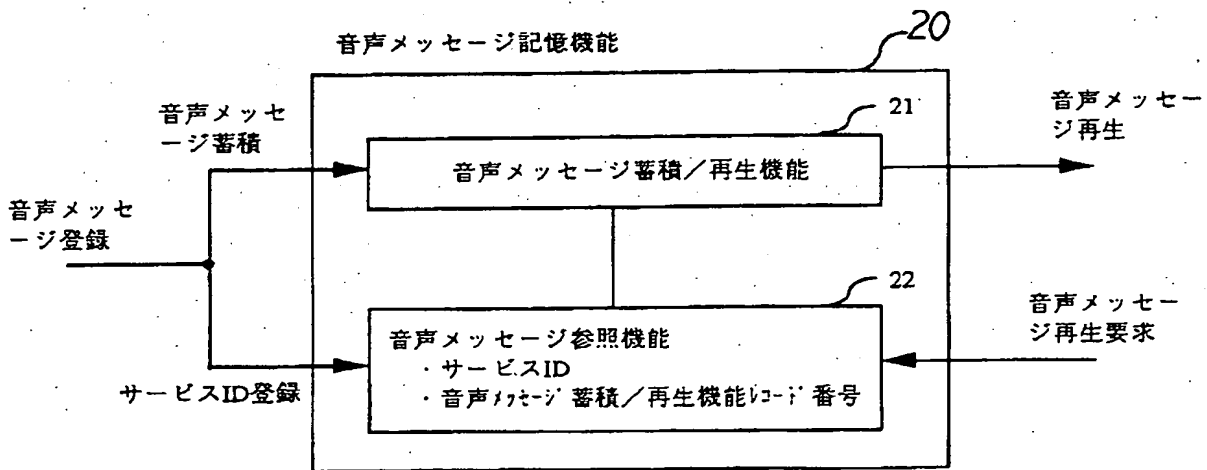
【図1】



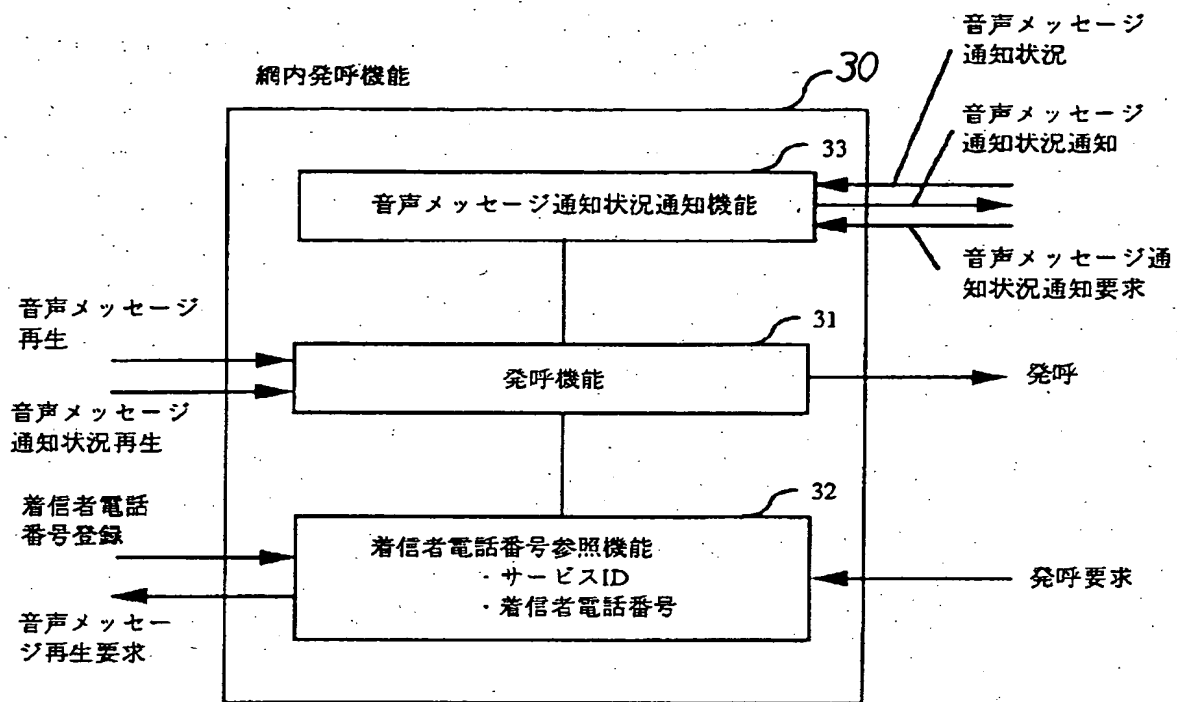
【図2】



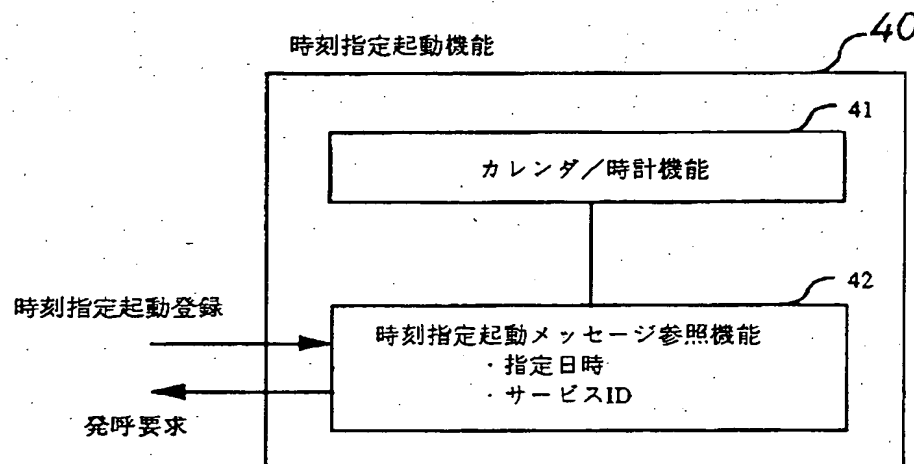
【図3】



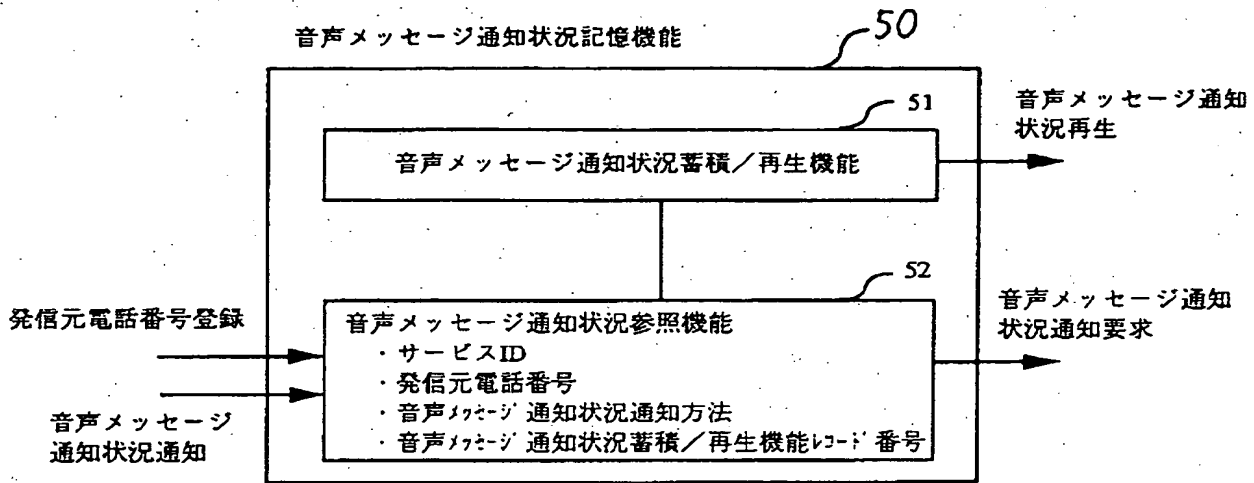
【図4】



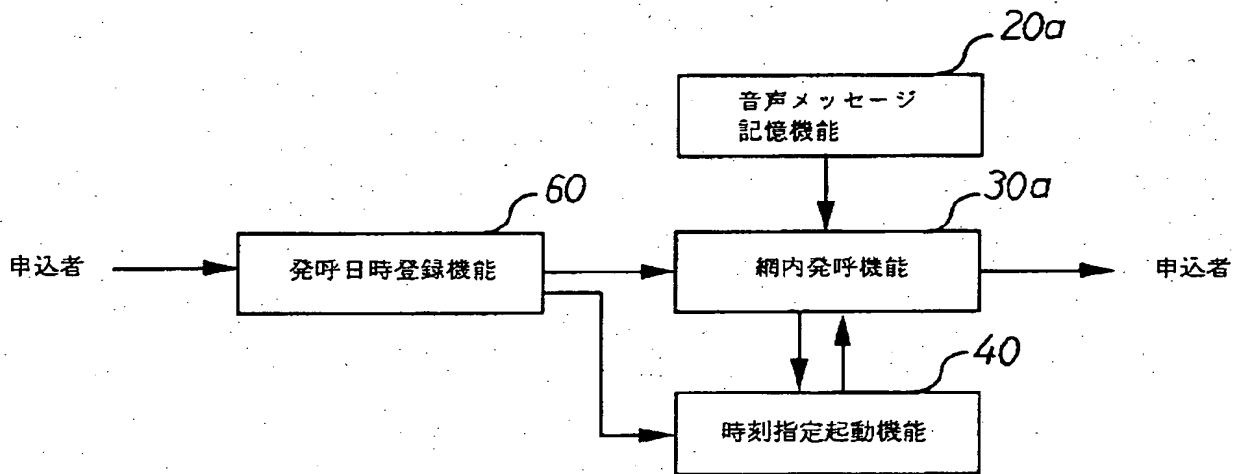
【図5】



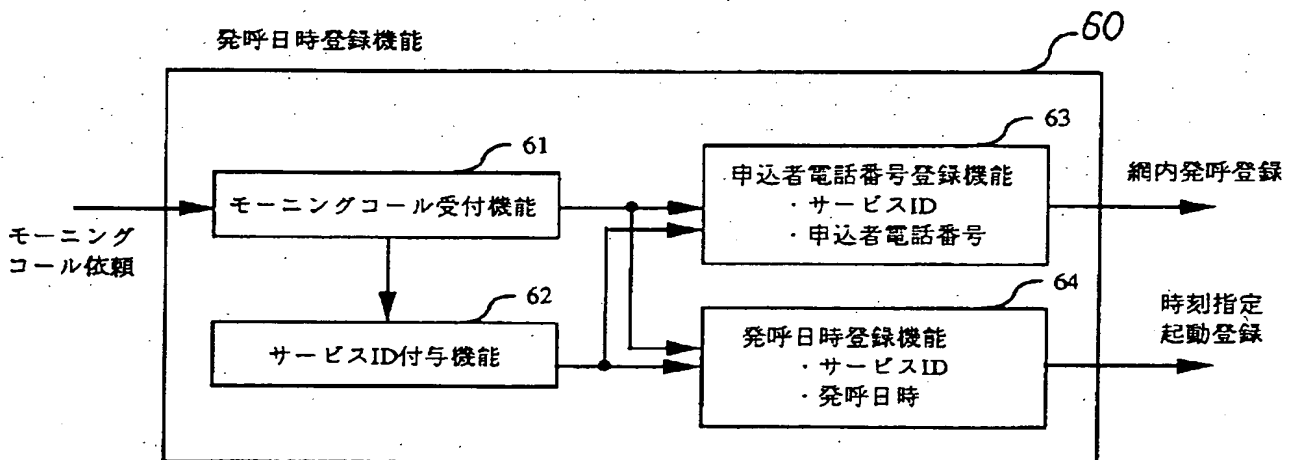
【図6】



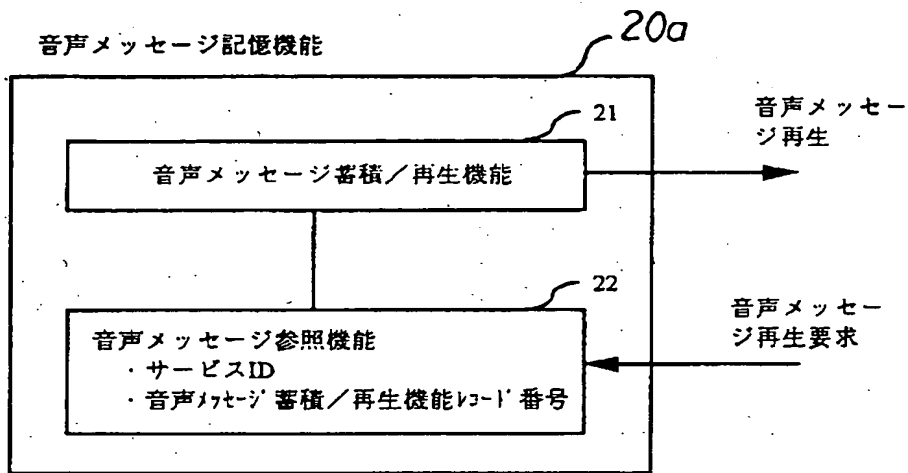
【図7】



【図8】



【図9】



【図10】

